

レ・クレドール ジャパン会報誌 “キー・ニュース”

*Les Clefs d'Or Japan*

*Key News*



2024年2月 第65号

発行：今泉愛子

編集：田中英司 嵯峨崎のぞみ 米谷紗央里

Website : [lesclefsdorjapan.com](http://lesclefsdorjapan.com)



Les Clefs d'Or Japan



[lesclefsdorjapan](https://www.instagram.com/lesclefsdorjapan)

# レ・クレドール ジャパン & 日本コンシェルジュ協会 共催セミナー 2024

文：竹内 郁代

2024年の日本コンシェルジュ協会とレ・クレドール ジャパン共催セミナーが、1月24日渋谷のセルリアンタワー東急ホテルで開催されました。セミナーは2部制で、第1部は明海大学ホスピタリティ・ツーリズム学部教授、三輪祥宏氏による「DXとコンシェルジュ、その先に広がる世界」と題したお話、第2部はUICH (Union International des Concierges d'Hotel) 1st Vice Presidentで、Next Hotel MelbourneのチーフコンシェルジュでもあるMr. James Ridenourから、コンシェルジュの現場でのDX活用事例についてお話いただきました。

三輪教授の講義は、デジタルという言葉が持つ印象、生成AIは人とどう違うのかという投げかけから始まり、アンケート結果や身近な例を挙げながら、私たちの身の回りのあらゆる分野へのデジタル技術の浸透が、地球規模で人の行動様式や価値観まで変えるような大きな変革(DX)を起こしていることを説明してくださいました。また一方で、ホスピタリティ産業ではデジタル化が進みにくい現状もお話いただき、人を介するサービスに重きをおく宿泊業に、まだまだ課題があることも理解いたしました。

「宿泊は宿泊そのものではなく、それを通して『何が出来るか』がコアになっていく、という言葉をいただき、デジタル化で受けられる恩恵と、デジタル化しないで守るものを見極める大切さ、将来的には、デジタル世界で



育ってきた世代に、実体験からの知見を持つコンシェルジュマインドを伝える重要性も教えていただきました。

続く第2部では、James Ridenour氏より、私たちの強みを再確認しつつ、コンシェルジュの現場に生成AIを取り入れていく事例を紹介いただきました。特に、一般的なデータでなく、働く現場で築いた確かな情報と信頼のネットワークを元にしたデータを活用する「ハイブリッドAI」の考え方には、デジタル化をより良いコンシェルジュサービスに繋げる多くの可能性があります。



# Welcoming New Member to Les Clefs d'Or Japan



2024年1月の審査委員会において、アンダーズ東京のチーフコンシェルジュ増田悟氏を新メンバーとして承認致しました。アンダーズ東京からは初のレ・クレドールメンバーです。増田氏からのご挨拶メッセージをお伝えいたします。

私の名前は、増田悟と申します。東京の下町で生まれ、下町で育ちました、生粋の江戸っ子です。この下町には約100年続くとても長い商店街があり、私は商店街の中の老舗店を巡り歩いたり、私と同じこの下町で生まれ育った方々とお話をするのが大好きです。私の簡単な職歴ですが、ベルアテンダント、ドアマン、宿泊予約、フロント、バトラーサービスを経て、日系ホテルのコンシェルジュに着任。その後、外資系ホテルのコンシェルジュで経験を積み重ね、2018年8月よりアンダーズ東京のチーフコンシェルジュとして従事しております。



この度は、この素晴らしいレ・クレドール ジャパンチームの新メンバーとして皆様とご一緒出来ますこと、心弾ませ、とてもワクワクしておりますが、少しばかり緊張もしています。一番初めにレ・クレドールの扉を開けた瞬間チームの皆さまのレ・クレドールに対する熱量に感銘を受けました。いただくばかりではなく、私から皆さまにも共有できる価値があればと思っております。それらが、私が皆さまとご一緒する間の目標です。皆さまの日頃のサポートがあり、レ・クレドールのメンバーになることが出来ました。あたたかく迎え入れてくださり本当にありがとうございます。

# KIDS DOOR CSR活動



## 個性を見つける2つの視点

- ・外から得る力と、内側に向かう力を養う

自分だけの視点  
内側＝個性＝ こだわり  
他人との違い

アリストテレスの言葉  
自分を知ることは、すべての知恵の始まりである



### 文：西川 知良

キッズドアは2007年から子供の貧困問題に学習支援で取り組んでいる認定NPO法人です。こちらが主催するEnglish Drive中央区のクラスへCSRの活動として訪問しました。レ・クレドール ジャパンは2018年からキャリア支援という形でホテルやコンシェルジュ職の魅力を伝えて参りました。今回は教室とオンラインを含め8名の高校生が参加。

“あなたの大切な個性の見つけ方”をテーマに約40分の講演を行いました。

高校生であれば家庭環境やテストの結果などで自分の価値を決めてしまいがちです。社会に出て自分の価値に悩んだ時に今日聞いたことを思い出して欲しい、そういった気持ちからこのテーマを選びました。日本は調和を重視します。日本で生きていく上でとても大切で他の国にはない素晴らしい精神文化だと思っています。一方で勝ち負けでは測れない他人との違い（個性）が見えない、他人との違いを素晴らしいと思えない側面があるように思えます。

だからこそ、ミケランジェロが大理石から人物像を掘り起こすように、自分自身を掘り起こす、そのための内向きの力が大切なのです。実際は個性を見つけることの大切さは彼らには少し早いテーマだったかも知れませんが、大人でさえ自分探しは重要なテーマです。しかし、聞く態度は真剣そのもので講演後もオンライン参加の生徒たちからも沢山の質問を受けました。

ぜひこれからも自分を大切にして希望を持って生きて欲しいと願っています。





# Getting to know our members!

ホテルグランヴィア京都  
チーフコンシェルジュ  
山本 美砂

コンシェルジュ歴 22年  
レ・クレドール歴 16年



## ホテルのハイライト

ホテルグランヴィア京都は、歴史と文化が融合する古都「京都」の玄関口である京都駅に直結しており、タワービュールームからは、ランドマークである京都タワーを目前に、迫力のパノラマをご堪能いただけます。観光やビジネスでの移動にも非常に便利で、ホテル周辺にはショッピングモールやレストランなどたくさんがあり、多彩なアクティビティを楽しむことができます。



## 休日の過ごし方

休日は家族や友達とくつろぎ、のんびり散歩や美味しい食事を楽しまします。連休中は、旅行に出かけ、訪れた地域の観光やグルメを楽しみ、リフレッシュします。



## とっておきの場所

京都から列車で2時間半、兵庫県北部の城崎温泉はお気に入りの場所です。城崎は1,300年以上の歴史を持つ温泉街です。7つの外湯で知られており、それぞれ歩いてまわることができます。街の中を流れる川沿いの柳が美しく、温泉めぐりをしながらの散策がおすすめです。城崎は新鮮な海の幸にも恵まれ、特に冬場は地元で揚がる松葉ガニが最高です。

## 一番好きなレストラン

弊ホテル最上階に位置し、京都の街並みを一望できる鉄板焼きレストラン「五山望」が私のお気に入りです。特に黄昏時の空はグラデーションが美しく、最高の景色とともに、シェフが目の前で焼き上げる厳選された食材を楽しむことができます。

## 定例会

**1月の定例会**は、セルリアンタワー東急にて開催されました。

プレジデントより1月1日に発生した能登半島地震への支援に関して、義援金を募る方向であり、どのように義援金を集めるかコミティーメンバーで話し合いを行ったと報告がありました。

5月にはCSRの活動の一環として、石川県への植樹を行う時期を検討、調整中との報告がありました。

1月の共催セミナー開催につき、メンバーそれぞれの役割について細かく指示と打ち合わせを致しました。

**2月の定例会**は、東京ステーションホテルにて開催されました。

4月に開催される能登半島地震のオークションで義援金を募るため、日本コンシエルジュ協会会長と打ち合わせを行ったことが報告されました。

1月のセミナーを終えての反省点と、来年のセミナーをどのような会にするかのブレインストーミングを行いました。

茨城県東京渉外局PR・誘致チームの方々より茨城県の魅力や観光誘致活動についての、プレゼンテーションがありました。沢山の体験コンテンツや、花やフルーツ狩りなどの自然も多く、神秘的な場所やグルメ等、茨城県について知る機会となりました。東京からも近くこれからはもっとご紹介できればと思います。

プレジデントの今泉ら数名が台湾を訪問した際、レ・クレドールチャイニーズ・タイペイの達が歓迎夕食会を開いてくださり、会員から寄せられた能登半島地震への義援金を頂いたとの報告がございました。台湾のメンバーの皆様には心より感謝申し上げます。

